

ゴーン・ベイビー・ゴーン (2007)

GONE BABY GONE

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ ミステリー

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 114分

公開情報 劇場未公開

【解説】

「ミスティック・リバー」の原作者としても知られるデニス・レヘインの傑作ハードボイルド『愛しき者はすべて去りゆく』を、これが監督デビューとなるベン・アフレックが映画化した社会派ミステリー・サスペンス。ボストンを舞台に、少女誘拐事件の捜査を手伝うハメになった幼なじみの私立探偵コンビ、パトリックとアンジーが、事件の背後に広がる現代アメリカ社会の深い闇に直面して葛藤と苦悩を抱え込んでいくさまを痛切に描き出す。主演は、監督の弟でもある「ジェシー・ジェームズの暗殺」のケイシー・アフレックと「M:i:iii」のミシェル・モナハン。共演にモーガン・フリーマン、エド・ハリス。また、誘拐された少女の母親ヘリーンを演じたエイミー・ライアンがアカデミー助演女優賞ノミネートをはじめ多くの賞を受賞するなど高い評価を受けた。

パトリック・ケンジーとアンジー・ジェナーロは、ボストンで私立探偵として働く幼なじみのカップル。ある日、4歳の少女アマンダが誘拐される事件が発生、テレビでも大きく取り上げられ、ボストンの街は騒然となる。そして、事件発生から3日目、警察の捜査に進展が見られない中、アマンダの叔母夫婦が、街の裏側に精通するパトリックたちのもとに捜索依頼に現われる。人捜しと言っても単なる失踪ではなく、警察が捜査中の誘拐事件であり、自分たちの出る幕ではないと、あまり乗り気でないパトリックとアンジー。さらに、アマンダの母親ヘリーンにかなり問題があることが次第に明らかとなり、ますます気の重い2人。それでも叔母の必死な願いを聞き入れ依頼を引き受けた2人は、さっそく独自の人脈を使って事件の真相を探り始めるが…。

【クレジット】

監督	ベン・アフレック	Ben Affleck
製作	アラン・ラッド・Jr ダン・リズナー ショーン・ベイリー	Alan Ladd Jr. Dan Rissner Sean Bailey
製作総指揮	デヴィッド・クロケット	David Crockett
原作	デニス・レヘイン	
脚本	ベン・アフレック アaron・ストックカード	Ben Affleck Aaron Stockard
撮影	ジョン・トール	John Toll
プロダクションデザイン	シャロン・シーモア	Sharon Seymour

『愛しき者はすべて去りゆく』(角川文庫刊)

衣装デザイン	アリックス・フリードバーグ	Alix Friedberg	
編集	ウィリアム・ゴールドデンバーグ	William Goldenberg	
音楽	ハリー・グレッグソン=ウィリアムズ	Harry Gregson-Williams	
音楽監修	ニック・ハーコート	Nic Harcourt	
出演	ケイシー・アフレック	Casey Affleck	パトリック・ケンジー
	ミシェル・モナハン	Michelle Monaghan	アンジー・ジェナーロ
	モーガン・フリーマン	Morgan Freeman	ジャック・ドイル 刑事
	エド・ハリス	Ed Harris	レミー・ブレサント 刑事
	ジョン・アシュトン	John Ashton	ニック・プール 刑事
	エイミー・ライアン	Amy Ryan	ヘリオン・マック リーディ
	エイミー・マディガン	Amy Madigan	ビー・マック リーディ
	タイタス・ウェリヴァー	Titus Welliver	ライオネル・マック クリーディ
	マイケル・ケネス・ウィリアムズ	Michael Kenneth Williams	デヴィン
	エディ・ガテギ	Edi Gathegi	チーズ
	マーク・マーゴリス	Mark Margolis	レオン
	マデリーン・オブライエン	Madeline O'Brien	アマンダ・マック リーディ
	スレイン	Slaine	ブッバ